

どこまでも正攻法



西荻塾

高校受験
大学受験

高卒生枠

限定募集

募集要項

1. 指導体制のあらまし
2. 指導の特徴——指導 4 本柱
3. 塾の施設について
4. 受講料のシステム

己と向き合い、早期に超克し、そして跳躍する。

■ 西荻塾の高卒クラスは、志望校・志望タイプ別に柔軟な授業を編成します。

①4月～7月、②夏期講習、③9月～11月、④冬期・直前期と4つの期間に分けて柔軟に対応をします。

【まず、甘さを消す】

既卒生の基本は、7割くらいでいいだろう、この程度の演習でいいだろう、という「～だろう」という甘さを消して、得点に貪欲になることです。そのための努力の道筋と授業における徹底した修正と鍛え上げを実施します。講義と徹底した鍛錬指導により、塾全般の指導が腹を括った覚悟と真剣に向き合うクラスです。

【質と量を追求し、結果にこだわる】

既卒生として、「専業受験生」となった以上、その生活においては、徹底した学習の質と量の確保が生業となります。来たるべき目標（志望校合格）に向けて、不断の努力を追求してください。そして、きちんと結果に向き合うこと。結果に向き合って克服の機会が多ければ多いほど、志望校は間近になる。その過程にしっかりと向き合う姿勢を育て、最後まで受験生を支えます。

ご留意事項：大手予備校等の高卒生クラス等とは、かなり異なるシステムになっています。あらましをご一読の上、ご不明な点等はお問い合わせください。また、事前に入塾相談を必ず実施させていただいております。また、個別に、綿密な指導を行うため、定員を7名に絞らせていただいております。

指導体制のあらまし

● 各人別の学習スケジュールの設計

少人数に絞り、徹底したコミュニケーションを密に行いながら、短期、中期、長期それぞれの観点から、一人一人に最適な学習方針を組み立てます。使うべき教材や授業方針、時間の使い方などについて、随時修正を繰り返し、時機に応じたスケジュール管理を実施します。

● 授業から自習の密な連携

授業は授業で、「自習は君たちにおまかせ」というスタンスは取りません。直接授業を担当する講師陣が、授業で向き合った弱点を、即補強し、得点に変える連携した自習指導を行います。授業と自習室での時間がすべて塾の指導時間です。

● 絶対的な演習量の確保

既卒生は、「現役時の演習不足」を肝に銘じ、能動的かつ意識的に演習量を確保すべきです。授業と連携しながら、タスクとして演習量を確保します。

● 得点には常にシビアに向き合う

「7割くらいでいいだろう」「このくらいやればいだろう」「明日でいいだろう」これらの「だろう」は甘えです。どこまでも自分と客観的に向き合い、向上を目指す姿勢が必要です。ときにはうまく行かなくて地団駄を踏むことはあれど、歩みは止めない。西荻塾では、こうしたメンタルの強さも、コミュニケーションを密に図りながら、しっかりと築いていきます。いいだろう」「明日でいいだろう」これらの「だろう」は甘えです。学校なき時分、どこまでも貪欲に得点に向き合い、上昇し、大学進学を勝ち取らんとすることを怠らない姿勢を育てます。

● 年中無休で塾を利用できます

朝7時から午後10時まで、年中無休で自習室を利用可能です。高卒生は、専用本棚および高卒生専用自習席（原則指定席）を準備しますので、学習道具は、塾に置いておき、年間を通して自習場所を確保することができます。

● 開講科目

英語・数学・国語（現代文・古文・漢文）
物理・化学・生物（基礎科目を含む）
世界史・日本史・地理

※授業は、その都度最適なカリキュラムの調整を施しながら、少人数による問答を盛り込みながらのライブ授業です。
※入塾時の実力診断により、個別授業にて対応する必要がある場合には、授業回数などのカリキュラムが異なります。

● 毎週のメンター（担当講師による面談）

それぞれ、担当講師により、授業の理解度・自習の進捗などについて、個別に面談の機会を設けています（授業後に、かならず実施します）。それ以外に随時必要に応じて面談や質問等も可能です。少人数制既卒コースならではの、しっかりとしたコミュニケーションに基づく指導を、年間を通して行います。

【既卒生クラスの入塾までの流れ】

入塾面談

志望校・現役時の取り組みや成績状況などを付き合わせながら、1年間の方針を面談します。

体験授業・学力診断

入塾面談の結果を前提として、複数回の個別授業（体験）及び学力診断を実施します。

授業設計・自習設計

授業及び自習方針の設計を行います。この段階で、課題や自習教材をお渡しします。既にお持ちの教材なども活用します。

塾内設備のご説明

塾内設備や演習システムの利用方法などのご説明を行います（その日から塾の学習利用が可能です）。

三者面談

当塾での方針や自習の取り組み、短期・中期・長期での見通しなどを面談します。※同日、ご契約手続を実施します。

年間授業計画について（全志望型対応）

最大3名の少人数限定クラスと個別指導により、各科目50分～120分の授業を（とりわけ12月以降の志望校対策は個別）を行いながら、授業前の予習・自習状況の把握したうえで、生半可な理解がみられる箇所、演習が足りない箇所、知識不足が露見している箇所を洗い出し、即時修正を加えていただきます。そして、さらにその内容を血肉化してもらうため、授業と連携して自習室での徹底した復習と演習指示を与えます。学習指針について、現状をつぶさに分析しながらの随時の補正、追加の手厚さが特徴です。

【4月・5月】 原理原則に忠実に・理解に支えられた知識の整理

現役の受験時に、それぞれの形で詰め込みをした「知識」に「正確な理解」という裏付けを早期に行います。せっかく詰め込んだ知識を今度は糧に変えることが目標です。5月下旬または6月上旬の模試で一定の結果を出すことが目標です。

★4月末～5月に合宿を実施し、受験生同士の結束と4月に詰めた知識の総括を行います。

【6月・7月】 演習不足の解消と密度の濃さを追求する鍛錬期間

模試の自己採点等を踏まえ、科目別に徹底演習指導を実施します。当塾では、詰め込み期間と呼んでおりますが、4月～5月の原理原則の理解をもとに、時間を短めに区切り、かなりの演習課題を課します。日々コミュニケーションを取りながら、進捗を確認、ハッパがけや効率のよいやり方など、それぞれに合わせて伴走指導を行います。講師とチームを組み、友人と切磋琢磨。めざましい精神力の成長を目の当たりにする時期です。

【夏期講習～9月】 志望校への照準を定め、実戦的な演習へ

7月までに詰めた知識や演習の2周目、3周目に入ります（反復は極めて重要）。ただ漠然とはではなく、確かな方法をコミュニケーションを取りながら効率よく行います。合わせて、過去問等スコアが客観的に把握できる演習を積み、秋以降の実戦模試等に備えます。この段階で志望校へ向けた確かな照準が定まることがポイントになります。★9月に強化合宿を実施予定

【11月まで】 攻守のバランスを取りながら着実に得点を伸ばす

スコアを常に意識し、各種模試および塾内での過去問、演習を活用しながら、抜け穴を一つ一つ埋め、同時に「攻め」となる強みを一挙に伸ばします（反復すべき教材の指示も具体的に与えます）。攻守のバランスを取りながら、完成へ進みます。この頃には、勉強していないと落ち着かない、という机についてひたすらに努力をすることが苦にならない生活になるはずです。

【12月～直前】 だからといって、変わったことをする必要はない！総仕上げは、徹底した復習にある。

最適な受験戦略を練りながら、志望校を絞り込み、あとはそこへ向けて一直線に進みます。直前だからと変わったことをする必要はありません。これまでの歩みが確かに軌跡として描かれていますので、自ら積み上げてきたものを何度も何度も復習し、演習によって常に自らを相対化する時期です。

※当塾の指導のあらましを実現するため、柔軟な編成を実施しますので、大手予備校と異なり、年間のスケジュールがびっちり固定化されたものにはなりません（ただし、基本的に週6回以上の通塾が必要です）のでご理解の上、ご検討ください。

※また、入塾時の学力や志望に応じて、最適なカリキュラムを個別に編成いたします。

※かなり手厚く指導（1クラスあたり3名前後で編成します）を実施している都合上、募集人数は7名までとさせていただきます。

■ 既卒コース カリキュラム例（生徒別に設計）

【理系国公立コース】

	月	火	水	木	金	土
1	演習日	英語①	共通現文	理系演習	英作文	共通古典
2		数学①	物理	数学②	英語読解	化学
3		数学②		英語②	数学③	
4			共通地理			メンター

【文系国公立大コース】

	月	火	水	木	金	土
1	演習日	英語①	難関古典	難関現文	英作文	共通国語
2			英語総合	数学②	英語読解	日本史論
3		数学①	演習	英語②	理科基礎	述②
4			日本史①			メンター

原則として、基幹科目（英数国、英数理、英数社など）は、週4コマ以上

【理系私大コース】

	月	火	水	木	金	土
1	演習日	英語①	英文法	英語②	英語③	
2		数学①	物理・数学演習	物理	英語読解	物理演習
3					数学③	
4				数学②		メンター

【文系私大コース】

	月	火	水	木	金	土
1	演習日	英語①	英文法	難関現文	速読演習	共通国語
2			英語演習	数学②	英語読解	国語総合
3		世界史①		英語②	世界史②	演習
4						メンター

時間割表は、2023年度の一例です。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」一つでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

「わからない！」でも、「もっといいやり方があるはず！」であっても、「この考え方の背景は？」であっても、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

【卒塾生の声】

●自分たちのレベルに合わせ、徹底して原理原則から授業が行われます。自分の志望校に向けて、知りたいこと、理解したいことがピンポイントでしっかりと聞けるのが良かったと思います。一緒にやっている仲間の答案がすごく良かったのを聞いたときに、アタマに火がつかしました(笑)
(一橋大合格者)

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

【卒塾生の声】

●一番困るのが、自分の書いた答案がどう評価されるのかということと、どうやったら点がもらえる答案になるかということでした。授業では、英作文であれ、数学であれ、国語であれ、全て先生たちの答案チェックが入ります。最後は、添削された答案を見直すことで、点の取れる答案作りへの自信が生まれました。
(北海道大合格者)

指導の4本柱

■ 定員は7名限定

現在の学力より、意思を重視します

現在、高卒生クラスは、7名に定員を設定し、定員が充足した段階で締め切っております(2017年は4月、2018年および2023年は3月末で締め切りました)。

大手予備校等の高卒生クラス等との違いは多数あれど、徹底したコミュニケーションに基づき、綿密な指導を行うためです。

そのため、ご入塾を希望される場合には、恐れ入りますが、入塾相談および入塾審査を実施させていただきます。

まず、重視するのは、ご本人自身のリベンジの意思と、志望校への確かな情熱です。表に表す必要はなく、内に秘めた確かなものがあるかを、丁寧に相談の上、確認させていただきます。その結果、入塾可能と判断した場合には、その時点での学力レベル、理解度などをテストした上で、具体的な年間のスケジュールなどを提示いたします。ご納得いただいた上でご入塾ください。

【卒塾生の声】

●辛いこと、大変だったことを挙げればキリがなく、失敗しかしてこなかった受験生活でしたが、先生方や周りの仲間の支えのおかげで、諦めずに京大を目指し続けられました。僕が唯一の成功したことは、西荻塾を選んだことです。
(京大合格者)

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

【卒塾生の声】

●自習室にいて、2つ隣の席の塾生は絶対に休まなかった。いつ見ても、一心不乱にやっていて、それで自分もやらないわけにはいかない。2つ隣の席のあいつがいたからこそ、自分の合格はある。一人では絶対に無理だったと思う。
(聖マリ(医)・東海大(医)合格者)

塾の施設について

常設自習室完備

毎日集中できる専用の環境を整備

西荻塾では、午前7時～午後10時まで年間いつでも利用可能な自習室を完備しています。

- 本棚完備です。 ●飲食室（カフェスペース）あり。
- 自習室には、専用トイレ、冷蔵庫・電子レンジ、Wi-fiも完備しています。また、リスニングスペースも完備しています。



卒塾生の声

2016年～2023年受験生の声

- 朝から並ばずに自分専用のスペースが確保されているので、この1年間は、家では全く勉強せず、自分のいる場所は常に塾でした。クラスの枠をまたいで、合宿と一緒に自習室で勉強する仲間ができて、1年間、目一杯頑張りましたが、とても、居心地のよい場所でした。(都立西・京都大学合格)
- 自分で勉強を進めているなかで迷いが生じたとき、すぐに解決してもらえる空間がとても良かったです。参考書類もたくさん塾に揃っており、自分に合った参考書や勉強の仕方などを随時相談できる環境がとてもよかったです。(吉祥女子・電通大)
- 授業の後に、すぐに自習室で復習し、困ったらすぐに聞けたり、類題を出してもらえる環境でした。いつも顔を合わせる浪人生たちが一緒にいる空間では、「私も負けれない」という空気は、自宅では味わえず、朝寝坊したときに罪悪感を感じるようになったのは浪人したときが初めてでした(笑)。(日大二・聖マリアノソノ医科大)
- 志望校は違っても、いつでも安心して勉強に集中し続けられる場所があったのは一番心強かったと思います。共通テストの類題演習や小テストも自分でたくさん作れるので、模試の前や直前期も、やることに困ることはありませんでした。(佼成・大阪大学)
- 毎日、伊藤先生と赤星先生、川上先生（※塾の責任者講師）に会えるので、緊張感と安心感がすごかったです。質問しにいったつもりがほぼ授業のように先生たちに説明をさせることもありましたが、アットホームな中でしっかり受験生活が送れました。振り返れば、こんなに勉強した時間はなかったです(錦城高・早稲田大)。

西荻塾既卒コースの実績（創設2016～2023）

- 【国公立大】東大・一橋・京大・筑波・大阪・九州大・都立大・学芸大・北海道大・電通大・東京外大
- 【私立大】早稲田・慶応・上智・GMARCH・理科大・ICU・各薬科大（薬学部）・東京女子など

既卒コースの主戦スタッフ

- 赤星講師（代表（東大）、数学・地歴・国語）
- 村田講師（理数科首席（東大）、数学オリンピック日本代表）
- 梶本講師（化学・生物科、医師）
- 伊藤講師（副代表・英語）
- 川上講師（国語科（九州大））
- 常藤講師（英語・数学・地歴（東大））
- 川口講師（英語（東大））

●この7名を中心に、徹底した指導を実施します。桁違いの講師力で授業のみならず、徹底した自習・演習指導を準備して、お迎えします。
※梶本講師は、診療のため、オンラインでの指導となる場合があります。

受講システム

■ 高卒クラス／費用について

西荻塾では、各科目の授業について、**少人数（1～5名）に絞った週3コマ程度（1コマ60分～120分）および演習授業を行い、時間割を習熟状況に応じて調整・決定させていただいています。**そのため、大手予備校のように、学期単位で固定した時間割ではなく、志望や現状に合わせてより柔軟かつ最適な形で時間割を決定します。また、**志望校に合わせた添削指導は個別に実施**します。

また、毎週、責任者講師によりメンター（カウンセリングや実力診断などの面談・自習状況のチェックなど）の時間を確保し、短期～長期の視点で指導を行います。

- 3科目型・・・私立大3科目を想定
- 4科目型・・・国公立・私立大
※例）英数国と理科または社会
※理科基礎などは不要の場合を想定
※このコースでも、共通テスト「情報」の授業を無料で受講可
- 5科目型・・・国公立大
※例）6教科8科目型（全科目型）

西荻塾の高卒クラスでは、**別料金による講習会費用は不要**です。

7～8月及び12月～1月は講習会期間として、集中授業・演習を実施するため、授業回数は多くありますが、**追加費用は発生しません**。また、合宿を年1回実施予定（感染症・社会情勢により集中講義に切り替える場合があります）ですが、その費用も含まれます。

対象	受講教科数	授業形式	受講料（年間）
高卒	3科目	少人数クラス	1,000,000円(税込1,100,000円)
	4科目	少人数クラス	1,100,000円(税込1,210,000円)
	5科目以上	少人数クラス	1,200,000円(税込1,320,000円)

●受講料は、上記金額を前期（4月納入）と後期（10月納入）に2分割してご請求します。早期合格の場合は、後期分の受講料にて調整します。

●在籍期間は、4月～2月まで（3月入試予定者は、入試終了まで）

●1・2月は受験スケジュールを勘案し、授業を前倒して実施する等の対応を取る場合があります。

●クラス編成は、志望校・レベルに応じて編成します。

●医学部志望者は面接・小論文対策を含みます。また、医学部志望者はクラス授業に加え、個別指導を強化しています。

●上記受講料の年間授業回数は、**一般入試・二次試験に対応する科目は、年間40週、共通テスト対策のみの科目は20週を目安に設定されています。**

●上記費用には、責任者講師によるメンター指導、自習指導（自習のために追加でオリジナルの演習教材を配布したり、小テストを作成するなど含む）などもすべて含まれています。

●入塾時に、クラス入室基準に満たない場合は、個別授業が中心になりますので、授業回数や受講料がクラス授業と異なります。

●習熟の進捗等により授業が少なく済む場合は減額します。こちらは、学習状況に応じ、丁寧にご相談の上決定いたします。

※個別指導を併用する場合の受講料につきましては、**クラス授業と個別授業受講料との差額（1科目7000円/月が目安）を申し受けます。**受講者の状況により額が変わりますので、事前にご説明をいたします。

※受講料の減額につきましては、後期分の受講料から減額し、差額が生じた場合にはご返金等の対応をいたします。

★特待生制度があります（授業料減免）。現役時の模試の成績、年度途中の模試等により選抜を行います。

★高3時より西荻塾に在塾されていた方は、前期受講料の10%相当額を割り引きます。

■ そのほかにかかる費用

- 入塾金 30,000円（税込33,000円）
*ご紹介の場合は、10,000円引となります。
*現役時在塾歴のある方、ご兄弟が通塾されている場合は不要です。
- 教材費（年間一括）18,000円（税込19,800円）/1科目
*教材費は、テキスト代・その他教材にかかる費用に充当します。
*科目、とは、英語、数学、理科（それぞれ物理、化学、生物）、国語、社会（地理、日本史、世界史）の区別をいいます。
*「情報」及び「理科基礎科目」は半額です。
- 施設維持費・利用料（4月～翌年2月）
毎月 10,000円（税込11,000円）
*施設維持費・自習室管理費・光熱費等を含みます。
*前期・後期分にて一括で納入いただきます。